

## 法科大学院

<http://www.meiji.ac.jp/laws/>

### 人権を尊重し、 「個」を大切にする法曹の養成

明治大学法科大学院は、本学の建学の精神である「権利自由」「独立自治」という教育理念を現代的に受け止め、「『個』を大切にする法曹」「人権を尊重する法曹」を養成することを目的としています。法科大学院修了者には法務博士(専門職)の学位が授与され、司法試験受験資格が与えられます。

### 司法試験累計合格者数全国6位

明治大学法科大学院は、司法試験合格者を777名輩出しています。全国の法科大学院のうち、第6位の累計合格者数です。

### 司法試験合格者就職率97.5%

2014年までの本法科大学院司法試験合格者688名のうち、671名が就職をしています。就職先として、弁護士が最も多く、裁判官・検事、一般企業・公務員と続いています。司法試験合格後の就職難を耳にすることがありますが、本法科大学院を修了した司法試験合格者の就職率は非常に高くなっています。

#### サポート体制

密度の濃いカリキュラムでの学びを円滑に進めるため、さまざまなサポート体制を設けています。

- 1人1席専用の自習机
- 若手弁護士から成る教育補助講師が常駐
- クラス担任制度における、担任(専任教員)・副担任(教育補助講師)によるサポート
- 明大法曹会の強力なバックアップ体制
- キャリアガイダンスの実施

#### 法科大学院募集コース

##### ○法学既修者コース(2年間)

本法科大学院において必要とされる法学の基礎的な学識を有すると認められた場合に、2年間で修了可能なコースです。

##### ○法学未修者コース(3年間)

標準修業年限の3年間で修了するコースです。法学の基礎から学ぶことができ、法学部出身者も入学可能です。

※社会人を対象とした、社会人特別入試(法学未修者コースのみ)も実施しています。  
※カリキュラム、入学試験等の詳細については、本法科大学院ガイドブック及びホームページをご確認ください。

## ガバナンス研究科 (公共政策大学院)

<http://www.meiji.ac.jp/mugs2/>

### 政治・行政・協働のプロを育成する

公共政策とは、国の内外における政策課題の現状分析と情報収集をもとに政策創造を行うものです。ガバナンス研究科は高度な知識と視野を備えた職業人を育成し、それらの人々の政策作成や政策処理能力を高めることを目的としています。

#### ■ ガバナンス研究科の理念



#### ■ カリキュラム編成

1. 授業は平日夜間と土曜日を基本とし、日曜日、祝日に集中講義を実施。
2. 実践的な特定課題の研究成果として、実務にも結びつく「リサーチペーパー」を2年次に作成。
3. 各分野で修了生と在学生のネットワークを形成しており、修了後も学び続けることが可能。

#### [ 科目群 ]

政策科学科目群 (A群)	公共政策に必要な政策科学についての基本的な知識から専門的な理論研究を行う
国際政策科目群 (B群)	公共政策をめぐる諸分野についての国際機構や動態について、国際比較を通じて理解を深める
公共経営科目群 (C群)	具体的な公共政策の場における実践と理論を研究し、公共経営のあり方を考える
法律技術科目群 (D群)	行財政運営の根拠となる法律についての知識を修得し、法律技術のあり方と運営について考える
政策分野研究 (E群)	公共政策の具体的な事例について、政策分野ごとにテーマを設定し、ガバナンスの諸相を研究する
特別・特殊研究 (F群)	レポート作成やプレゼンテーションなど、公共政策を実施するための研究方法や技術を修得する

#### [ 目的別に4つのプログラムを用意 ]

現職議員・首長、 これから政治家を目指す人	都市政治プログラム
現職公務員、 これから公務員を目指す人	自治体マネジメントプログラム
会社員、企業・NPO・NGO職員、 市民	社会・生活創生プログラム
資格を持つプロフェッショナル、 それを目指す人	コミュニティ共創プログラム

## グローバル・ビジネス研究科 (ビジネススクール)

<http://www.meiji.ac.jp/mbs/>

「ビジネスの真髄がわかる」  
プロフェッショナル人材の育成

### 2年間(4月・9月入学)でMBAを取得

入学時期は、4月と9月の2回。業務の都合などで合わせて選択できます。春・秋2学期制で2年間通学し、MBA取得を目指します。

### 平日夜間、土曜日終日開講

平日の授業は、6時限目が18:55～、7時限目が20:30～で、社会人の方でも無理なく通学ができます。仕事と学業が両立できる環境が整っています。

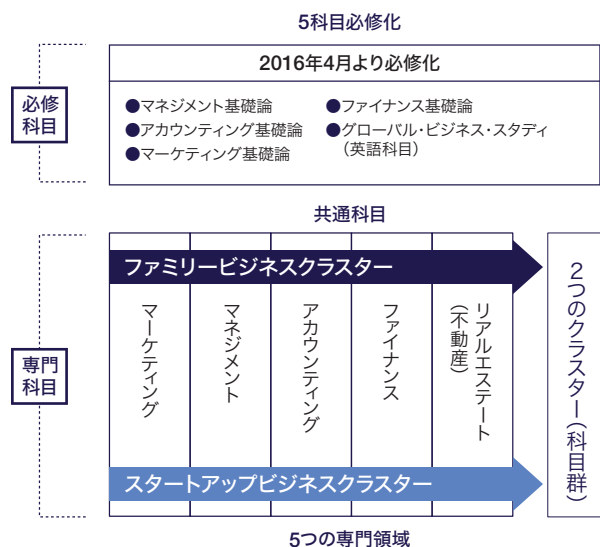
### 生涯学習サポート

生涯にわたってキャリア開発をサポートできるよう、修了後も科目等履修生として、論文演習を除く全ての科目を通常受講料の約半額(1科目¥36,000)で履修できます。

### 5領域の多様な科目の中から目的に合わせて履修可能

ビジネスを取り巻く環境は常に変化し、経営者やビジネスマンは素早い対応が求められます。明治大学ビジネススクール(MBS)では、ビジネスをあらゆる面からとらえるべく、演習やケーススタディを取り入れた多様な科目を提供します。また、領域横断型履修プログラムである2つのクラスター(科目群)を導入しています。

## MBSカリキュラム構成



## 会計専門職研究科 (会計大学院)

<http://www.meiji.ac.jp/mac/s/>

会計プロフェッションの  
「知」「技」「心」、そして「個」を

### 次世代を担う会計専門職業人の育成

これからの会計専門職業人に求められる資質と能力は、プロフェッショナルとしての高度な職業倫理に根差した公共性と論理的な判断力などです。本研究科は公認会計士や税理士を始めとする多くの会計専門職業人を輩出してきた本学の伝統を礎とし、新たな時代が求める高度会計専門職業人の育成を目的としています。

#### (1) 志望するキャリアにあわせた2つのコース制

当研究科では、主に公認会計士や企業等の民間部門もしくは国・地方公共団体等の公的部門における会計専門職業人を目指す「会計専修コース」と、税理士を目指す「税務専修コース」の2つのコース制を設けています。ご自身が目指すキャリアに応じてコースを選択ください。

#### (2) 国家資格試験の一部科目免除申請が可能

① 公認会計士試験: 免除申請に必要な科目を修得し、当研究科を修了すると、公認会計士(短答式)試験の一部科目免除が適用されます。

② 税理士試験: 会計学または税法に属する科目等に関する修士論文を作成し、修了すると、税理士試験の会計学または税法に属する科目について、国税審議会への免除申請が可能になります。

#### (3) eラーニングによる受講

明治大学のeラーニングシステム(e-meiji)を活用したメディア授業を導入しています。このシステムを利用することにより、院生は自身のスケジュールに合わせて教室外で学修することができ、また講義を繰り返し視聴することにより、理解を深めることも可能です。

#### [ 4つの特色 ]

##### 会計大学院ならではの授業スタイル

マスプロ教育ではなく、学術的な議論に基づいた双方向授業

##### 初心者にもわかりやすいカリキュラム

導入科目から開始しても、修了時には高度会計専門職として必要な素養を身につけることが可能

##### 会計専修コースと税務専修コースの設置

多様な学生のニーズに対応したきめ細かいコースに設定

##### 有職社会人にも対応した昼夜開講制

平日昼間(対面授業)のみならず、平日夜間・土曜(対面授業)及びメディア授業のみでも修了可能